

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

目標		実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
目標1	中小企業支援による地域経済の活性化及び陶磁器・タイル産業の振興、民間活力との連携	1. セミックパレーの推進 ①セミックパレー協議会の設立及び関連事業の実施 ②国際陶磁器フェスティバルにおけるセミックパレー展の開催 2. 企業支援 ①「き」業展、企業お見合いの実施及び起業支援 ②商工会議所と連携した多治見で働くプロジェクトの推進 3. 新型コロナウイルスに対応した経済対策 ①市独自の経済対策及び感染防止飲食店調査の実施 ②事業者相談窓口でのワンストップサービス 4. 中国邛崃市での美濃焼展示促進、セミックパレー振興補助制度や美濃焼タイル施工補助制度を活用した美濃焼振興 5. 多治見市観光協会、多治見まちづくり(株)、(株)華柳の3組織統合に向けた準備・調整	1. ①②4月に協議会設立、事務局として事業計画・予算作成等を支援、県・4市と協議調整しセミックパレー展、クラフトキャンプ、LA7-マンどんぶり展開催（3月） 2. ①10月企業お見合いを開催、313件商談 ②11月働くフェスを開催、32名参加 3. ①6月仁呑みG0、7月美濃焼G0やくも＋、4・5・6・8・9・1月飲食店調査、11月洒落デG0実施 ②セフティネット115件認定（1/末） 4. 官民連携した邛崃プロジェクトを立上げ6月邛崃市と覚書締結、9月中国国際サービス交易会に出展し販路拡大支援、中国での美濃焼商標正式登録に向け準備 5. 3組織の理事会・総会で統合を了承、各課題を解決、新組織多治見DMOの体制・重点事業を決定	T2
	高田テクノパーク開発事業の推進及び企業誘致事業	1. 高田テクノパーク開発事業の推進及び企業誘致 ①第1期第2期高田テクノパーク及び土岐・多治見北部連絡道路の完成（令和4年3月） ②造成工事に係る、地元自治組織、JR東海、高田陶磁器工業組合、隣接事業者、関係機関等と協議をし課題解決 ③第2期高田テクノパークへの進出企業の決定 ④第1期高田テクノパークへの企業進出に向けた営業 2. 進出企業へのアフターフォローによる地域交流の実施、地域貢献事業の促進 3. 次期工業団地開発事業の調査研究をし、候補地の抽出・検討及び候補地の決定	1. ①第1期第2期高田テクノパーク及び北部連絡道路の完成（3月）、JR東海と管理協定を締結し10月から第1期テクノパークの一部使用を開始 ②近隣住民対応、JR東海と土岐市との協議調整実施 ③第2期高田テクノパークの進出企業を決定し土地売買契約締結（11月） ④第1期高田テクノパーク企業進出に向けた営業実施 2. マゾンによる小泉児童館への絵本贈呈（6月）、虎溪用水広場の清掃活動及び清掃道具贈呈（7月）、青空マーケットで地元野菜販売（5回）、トヨタ紡織による地元と連携した清掃活動の実施（2回）、トヨタによる地元小学校社会科見学の実施（11月） 3. 次期候補地7ヶ所の抽出・検討を実施	T1
目標3	イベントの実施、日帰り観光等の推進、中心市街地活性化及び施設管理	1. 「やくならマグカップも」を活用した観光PR及び誘客事業の実施 2. 新型コロナウイルスに対応したイベントの実施（陶器まつり、花火大会、美濃焼祭、多治見まつり等） 3. 東美濃歴史街道協議会による広域観光連携事業の実施 4. 中心市街地活性化基本計画事業の推進 ①ビジネスプランコンテストの実施（応募20件） ②官民連携したまちづくり事業、古民家再生事業の実施 ③美濃焼タイルを活用した街中タイルリンク設置事業の実施 5. 所管施設の適正管理及び旧勤労青少年ホームの最終処分決定	1. 7月美濃焼G0やくも＋実施、10月声優イベント実施、12月やきものコンテスト募集開始、アニメ聖地88選受賞 2. 4月陶器まつり分散開催、8月シークレット花火開催、10月美濃焼祭開催 3. 観光バスポート事業、旅行商品造成事業を実施、協議会事務局を運営 4. ①6月応募者説明会、6・7月ビジネスプラン作成支援セミナー開催、1月最終審査を実施（応募総数11件） ②民間事業者と連携し、古民家再生事業を検討 ③駅前商店街にタイルリンク3台設置（3月） 5. 5月臨時議会でNP0森の家に対し訴えを提起、訴訟開始（第1回7/29第2回2/14）	T2
	農業振興の推進及び地産地消の推進	1. 人・農地プラン等による人と農地問題の解決 ①北小木営農の経営安定化支援 ②ライオンクラブに係る多治見営農の運営組織支援 ③人・農地プランの実質化への取り組み（南姫地区・池田南地区） 2. 農振整備計画の見直し 3. 森林環境譲与税を活用した森林管理及び林業就業移住支援 4. 農業祭の開催、農産物直売所への支援、フォーレ三の倉の事業展開支援による地産地消の推進 5. 有害鳥獣対策及び確実な捕獲体制の維持 6. 農業委員会の適切な運営及び遊休農地対策の実施	1. ①農業機器導入支援（7月） ②運営会議に出席し、組織運営安定化に向け多治見営農の2号法人化を提案 ③地域農業関係者と協議し現状と課題を把握 2. 現地調査を行い農振農用地除外を実施、各関係協議を経て整備計画を作成（3月） 3. 池田南地区の林地台帳整備及び笠原地区の意向調査を実施、林業就業移住支援金を3人に交付 4. 5月フォーレリニューアル支援、6月駅北77-48周年祭支援、11月農業祭開催 5. 毎週2回捕獲隊と打合せ実施 6. 毎月1回農業委員会を実施、7月～9月農地利用状況調査、11～12月利用意向調査を実施	T3
目標5	陶磁器の次世代を担う人材の育成及び各種支援	1. 3Dスキャナー等を活用したデザイン支援 ①陶磁器工業組合と連携した3Dスキャナー活用促進研究会の実施 ②石膏型組合と連携した3Dスキャナー活用促進及び造形技術向上研究会の実施 2. 移住定住を促進する研究生募集、人材育成 ①応募者増加へ向けた人材育成事業の見直し ②外国人研究生（セックスボ）3名以上の確保 ③国内新入研究生15名以上の確保 ④国際交流（中国邛崃市等）の推進 ⑤陶芸工房バンク、修了生雇用・定住促進奨励金、修了生創作活動支援補助金の周知・運用	1. ①滝呂・高田・市之倉工業組合、笠原タイル業界と研究会13回実施（22社）、新春見本市で成果発表 ②県石膏型組合多治見・滝呂支部と研究会8回実施（9社） 2. ①実習料等見直しを含む人材育成5事業の見直しを実施 ②外国人研究生新規3名合格（待機合格者4名） ③現地見学会・オンライン見学会を随時実施、1次審査を実施し15名合格 ④6月邛崃市と覚書を締結し陶芸家の交流を準備、意匠研究所職員が国際陶芸学会（IAC）会員に選出 ⑤陶芸工房バンク新規物件登録4件・新規利用登録14名、奨励金交付3件・資格認定4件、補助金交付4件	T3
b 独自目標加算（任意設定）		（目標設定）	（成果）	
例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等				

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	経済部	産業観光課
補職名・氏名	課長	長谷川昭治

組織目標兼管理職個人目標

達成度		成果（評定時に記入）	実施する業務の内容	目標
T2	目標1	1. ①4/8協議会発足及び令和4年度からの運営体制確立調整②事業実施(9/30～セラミックパレー展、11/13・3/19クワトロキャンプ、3/18～LA7-マンどんぶり展) 2. 会期短縮するも好評開催実現 3. 企業お見合いでアマゾンサイトリダーの講演会開催 4. ①6/22読書締結、9/2北京交易会出展により中国市場販路拡大を推進。常設展示場設計及び展示品選定支援。中国での美濃焼商標正式登録に向け準備②振興補助金18件、タイル施工補助金16件補助③コロナ対策を講じ各種イベント、企画展等を積極的に開催④テラブルウェアフェス、Web陶器市、マリットホテルイベント開催 5. オンライン意見交換会実施 6. クルメスタンプラリー実施 7. 組織統合関連議案を各組織臨時総会(2,3月)で決定。多治見DMOの体制・重点事業を決定	1. セラミックパレー構想の推進 ①協議会の立ち上げ及び事務局運営 ②協議会事業の実施調整、支援(セラミックパレー展等) 2. 国際陶磁器フェスティバル美濃'21の開催支援 3. アマゾンとの連携による地場産業支援 4. 美濃焼の振興 ①中国邛崃市での美濃焼展示促進 ②セラミックパレー振興補助・タイル施工補助制度の積極的運用 ③各ミュージアム施設を活用した産業、観光事業実施 ④販路拡大支援(テラブルウェアフェス等見本市出展支援) 5. やきもの産地連携協議会による共同事業実施 6. 美濃焼を使おう条例関連イベントの実施 7. 観光協会、TMO、(株)華柳の組織統合準備・調整	セラミックパレー構想の推進、美濃焼産業の振興及び民間活力との連携 地場産業の振興に資する販路拡張支援、産業観光資源化へのアプローチ
	目標2	1. ①経済支援策の迅速実施(保証料補給、雇用調整助成金、働こプロジェクト採用支援、セーフティネット認定、感染拡大防止協力金他)②独自支援策の迅速展開(タジミGOありがとうキャンペーン、美濃焼GOやきも+、缶呑みGO、洒落テGO)③適切かつ迅速に対応、セーフティネット115件認定(1/末)④コロナ感染防止対策注意喚起、時短要請等迅速周知を徹底(メール、HP、DM、TEL)、営業状況調査実施 2. ①10/22企業お見合い開催。1/28～29「き」業展一部オンライン開催②創業支援センター5回開催(7-8月)③6/22起業支援チーム入居審査会実施(2/1時点満室)④企業訪問時等意見交換会実施 3. 6/16Web説明会開催、11/23働こフェス開催 4. 各セミナー開催(11/30若年労働者定着支援セミナー、2/7育休中女性復帰セミナー)	1. 新型コロナに対応した経済対策 ①国、県の経済対策等を踏まえた地域経済対策 ②既存経済支援策の運用、美濃焼GO等独自支援の実施 ③市内事業者相談窓口でのリストアップサービス ④市内飲食店における感染防止対策啓発・調査実施 2. 起業支援、事業継続支援 ①「き」業展、企業お見合いの実施 ②創業支援センター等による起業支援の実施 ③起業支援チーム入居者、卒業企業の事業展開支援 ④既存中小企業の事業継続支援 3. 商工会議所連携事業・多治見で働こプロジェクトの推進 4. 女性就労支援、定着支援など安心して働き続けられるためのセミナー開催協力	経済対策、地域経済の活性化(新型コロナ関連経済対策) 市況を踏まえた迅速かつ柔軟な経済対策の実施、中小企業等の支援による地域経済の活性化
	目標3	1. ①②TV放映(第1クール4-6月、第2クール10-12月)と連動した情報発信を継続実施(公式HP、広報誌、新聞、情報誌等)し、市民及びファン層等への観光PR実施。10/9声優イベント開催。9月～アニメ聖地旅行ツアー催行。9/19Tニものづくりアワード銀賞受賞、12/15Tニ聖地88選受賞 2. 観光戦略委員会等を通じ事業支援 3. 8/1分散型花火大会開催。10/9-10美濃焼祭開催。第50回多治見まつり延期 4. パスポート事業、周遊旅行商品助成等実施 5. 茶文化活動休止中。春日井連携・公民館まつり出展、美濃焼祭コラボ企画実施 6. 市内6展示施設の多言語化整備しインバウンド受入態勢構築。中国語版パンフ制作 7. 企業協賛のうらちわ製作(7,500枚)し、駅南北、市内幼稚園保育園に配布	1. TVアニメ「やくならマグカップも」の活用 ①アニメ放映に伴う観光PR事業の実施 ②アニメーション事業及び地域振興事業の推進 2. 観光協会のDMO法人化及びDMO関係事業展開支援 3. 新型コロナに対応したイベント、観光事業の安全安心実施(花火大会、美濃焼祭、多治見まつり他) 4. 東美濃歴史街道協議会による広域観光連携事業推進 5. 自治体間連携事業の実施(茶文化、春日井市他) 6. コロナ収束後を見据えたインバウンド事業の推進 7. うながっぱを活用した観光PRの実施 8. SNSを活用した観光情報の発信	観光誘客事業の推進 市内観光資源、アニメツーリズム等を活用した観光誘客事業の実施、広域観光連携事業の実施
	目標4	1. ①②制度周知、斡旋実施 2. 中心市街地における古民家再生事業について民間事業者と継続的に意見交換を実施 3. 開催周知、参加者募集に向けたポスター、パンフ作成し提示。1次審査実施(9/17)。7者による最終審査会実施(1/29)。6校によるタジコンハイスクール同時開催 4. ①ワンタースフェス共催(11/28)②オリーブストリート、駅前商店街、ながせ通り商店街で実施(31ヶ所69鉢)③駅前商店街にタイルシタ3台設置(3月) 5. ヒアガーション開催(7/2～8/22)。たわけまるけ&イルミネーション点灯式(12/5)、洒落テGOイベント(11/23)、大道芸見本市(12/3)等、賑わい創出イベントを積極開催 6. 組織統合を見据え委員会を再編し開催	1. 空き店舗対策強化プロジェクトの推進 ①店舗併用住宅宅分離改装補助制度等による物件確保 ②まちづくりファンドによる出店支援 2. 官民連携による古民家再生事業の推進 3. ビジネスプランコンテストの実施(1月) ①事業のPR活動、募集及びセミナー開催 ②1次審査(9月)、ブラッシュアップ(～1月)、最終審査(1月) 4. 官民連携事業等によるにぎわいづくり ①やまかなびパークオープンスカフェでのマルシェ等の開催 ②商店街空中スリ事業(7月) ③美濃焼コレクション事業の実施 5. 虎溪用水広場、駅モール等駅周辺の賑わい創出 6. 中心市街地活性化基本計画事業の推進	中心市街地の活性化 TMO、商工会議所、金融機関及び民間事業者等との連携による中心市街地の活性化
	目標5	①建物明渡請求訴訟提起(5/18)、準備書面答弁(7/29、2/14)②豊岡駐車場防水等補修工事実施、駅北立駐放置車両対応等適切に処理③随時適切に執行④コロナ関連融資制度を含め迅速に対応⑤年度計画に基づき進捗管理及び委員会開催⑥適正かつ弾力的に対応⑦国補助採択を受け永保寺境内トイレ改修を実施(3月完成)⑧コロナ影響下における観光動向、ニーズ等を調査研究⑨指定管理評価委員会を開催。3者統合に伴う駅北立駐、駅北広場の指定管理者を観光協会に決定。12月議会にて議決⑩関係団体と連携し適切に実施⑪7/10発明クラブ開講(11回)、市発明工夫展を実施(審査、表彰のみ実施)⑫適正執行	①旧勤労青少年ホームの最終処分決定 ②市官駐駐車場関係事務 ③鉱業法、採石法、砂利採取法関係事務 ④中小企業への融資・利子補給等関係事務 ⑤産業観光振興計画の進捗管理 ⑥各種補助事業関係事務 ⑦観光施設整備関係事務 ⑧国内外観光トレンドの調査、研究 ⑨所管指定管理施設関係事務 ⑩商工業関係団体関係事務 ⑪発明協会関係事務 ⑫部内調整事務・産業観光課予算・決算	適正な事務の執行 各事業、手続き、関係団体等、会計処理等の事務の適正執行
b 独自目標加算 (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		(目標設定)	(成果)	

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	経済部 企業誘致課
補職名・氏名	課長 日比野 至

達成度		
目標	実施する業務の内容	成果（評価時に記入）
目標1 高田テクノパーク開発事業の推進と進出企業誘致 環境調査・関係機関調整・造成工事の推進 進出優良企業誘致・分譲手続き	1. 高田テクノパークの整備と管理 ①第1期及び第2期テクノパーク、北部連絡道路の年度内完成を目指した工事進捗状況管理（3月末） ②オーナーメント等による宅盤の設計変更に関する工事業者への指示と協議（随時） ③地元や関係企業への説明・良好な関係維持、土岐市との協議、鉱業権に係る中部経産局との調整（通年） ④JR東海との管理協定締結（9月末） ⑤調整池等の管理における関係部署との協議（通年） 2. 企業進出事業の推進 ①第1期及び第2期分譲に係る営業及び売却手続きに関するサポート（随時・3月末） ②第2期テクノパーク進出企業の決定（3月末）	1. ①第1期第2期多治見高田テクノパーク及び土岐多治見北部連絡道路の3月末完成（第1期の第1調整池地盤対策の擁壁設置のみ工期延長予定） ②第1期はJR東海の要望に応じ舗装実施。第2期は乗入口の幅等を変更 ③東栄町現地視察（11/8）。周辺住民苦情対応（随時）。鉱山関係者との協議（10/27、11/5） ④管理協定締結後JR東海ヤード使用開始（10月～） ⑤水道、下水道の使用量等に関し水道部と協議 2. ①契約に関する最終協議（10/25）。現地視察（11/2・進出企業20人程度）を実施 ②進出企業を決定し土地売買契約締結（11/1）土地開発公社理事会（2/17）市議会全員協議会（2/18）記者会見（2/18）にて報告及び公表
目標2 工場立地サポートと次期工業団地調査研究 増設等手続き支援による事業の推進 誘致候補地の調査・物件に係る諸問題調整・地元調整	1. 誘致企業の増設等に関する支援 ①上原テクノパーク、長瀬テクノパーク等における増設計画への助言と事業の進捗サポート（通年） ②民間企業の施設増設等に関する助言と指導（通年） ③工場立地法の届出に関する助言・事業所等設置奨励金に該当する企業の指定（3月末・通年） 2. 次期テクノパークの調査・研究 ①候補地となる市有地の抽出と造成等に関する課題の整理（9月末） ②公共施設管理課と施設統合等の情報交換及び跡地利用調査（通年） ③具体的候補地の抽出・検討及び最終候補地の決定（3月末）	1. ①明和工業団地の工場増設、日本がイイの流通倉庫増設に関し開発指導課他との協議に同席し助言。早期着工を支援、実現 ②工場増設や土地取得の相談に対応し、民間企業の設備投資を後押し。企業訪問による要望聴取（2回） ③明和工業団地、水谷産業団地に対して工場立地法及び岐阜県補助金について指導・説明。東濃信用金庫に対し事業所等設置奨励金確認説明 2. ①庁内協議にて抽出した候補地について説明 ②統合及び廃止が予定されている市有施設について企業誘致候補地として公共施設管理課と協議実施 ③候補地絞り込み。造成の可能性や道路等の施設について、基礎調査費を令和4年度に予算化
目標3 誘致企業の地域貢献事業支援と地域経済への波及促進 進出企業へのアフターフォローと地域、地元産業との連携強化	1. 各種奨励金による企業サポート ①事業所等設置奨励金の確実・迅速な交付（11社12件） ②雇用促進奨励金の周知と申請手続き支援（15人） ③移住定住促進奨励金による転入促進（3人） 2. 企業からの相談・要望等への支援と協働 ①土地の取得や各種行政的手続きの支援（随時） ②周辺緑地帯等の草刈や清掃等への協力（随時） 3. 地域貢献への協力 ①地元・学校・企業とのマッチング等による地域貢献事業支援と企画提案（トヨタ多治見サビセンターへの社会見学：アマゾン多治見フルフィルメントセンター青空マーケット・通年） ②地元自治組織等への情報提供・協議（通年）	1. ①全納6社については奨励金交付済。残りの5社も年度内に交付完了 ②見込通り5社15人の雇用があり、奨励金制度の周知と効果により地元雇用を促進 ③移住定住を見据え、制度の周知を徹底 2. ①居抜き物件等の情報を商工会議所等にて収集。事業拡張計画のある企業を紹介 ②三号池ロードの清掃を地元、企業、行政の協働で実施（7月・10月実施） 3. ①養正小学校、共栄小学校によるトヨタ多治見サビセンター社会見学（11月）。アマゾン青空マーケット等の物販（通年）を実施 ②トヨタ多治見サビセンターの活用等地域貢献活動支援
目標4 誘致活動の体制整備と適正な事務の執行 企業進出意欲を増進させる体制づくりと積極的なPR活動、迅速な事業遂行とレスポンス	1. 誘致活動の体制整備 ①プロジェクト会議開催と企業ニーズへの迅速誠実な対応 ②企業誘致促進協議会参加及び活動での展示会等へ出展やメディアを使ったPR活動実施 2. 誘致PRの推進及び事務の適正な執行 ①パンフレット配布やホームページ等による営業活動推進 ②進出企業への市民雇用、従業員の市内定住を促進するため企業への積極的な優遇制度を周知 ③雇用情報、不動産情報等の収集・整理に努め、企業に対して魅力溢れる情報発信 ④5S+Sの適正実施による多治見市の良さを強調	1. ①第2期多治見高田テクノパーク分譲に関するプロジェクト会議開催（1/31）。開発申請等他課への要望にフレキシブルに対応 ②メッセコヤ2021に出展（11/10～13）。協議会各市町保有テクノパーク等を企業を中心に広く紹介 2. ①県企業誘致課にパンフレット配置。メッセコヤでのパンフレット配布等による営業活動実施 ②年度初めや年始の企業訪問時を中心に支援制度を説明。申請時の記入方法についても丁寧にサポート ③ネットワークからの情報を元に雇用状況を把握。求人活動をしている企業の要望を収集し適した方法で対応 ④アフターフォロー日本一を掲げ積極的に企業訪問を実施。きめ細やかなサポートを約束
目標5		
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	（目標設定）	（成果）

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	経済部 陶磁器意匠研究所
補職名・氏名	副所長・前田剛

組織目標兼管理職個人目標

目標		実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
目標1	迅速かつ高度に対応するためのデザイン支援の強化	1. 3Dスキャナー等を活用したデザイン支援 ①陶工組連携3Dスキャナー活用促進研究会の実施 ②岐阜県石膏型工業協同組合多治見支部連携3Dスキャナー活用促進及び造形技術向上研究会の実施 ③造形技術者育成の3DCAD講習会開催（3回以上） ④3DCADデータ作成等のデザイン支援業務の受託 2. 陶磁器製品開発への女性や若手人材の参画支援（市之倉、高田での「多治見・陶・小町」立ち上げ） 3. 市の事業への積極的なデザイン支援と助言	1. ①②は新春見本市で成果発表 ①高田・市之倉・滝呂工組10社との3Dスキャナー活用研究会では、実物のエッジの皮や小枝をスキャンし「陶磁器製わさびおろし」や照明器具を試作。既存製品をスキャンしデータ化、リサイズ、リデザインへの展開を検証。笠原タイル関係12社とは、葉脈レリーフのタイルへの転用や樹皮模様の湿式ローラー成形への転用を試作 ②石膏型組合9社とは、スキャン精度の確認やスキャナーの特性、有効な操作方法について検証 ③4回開催、計7名が受講 ④CADデータ作成65件（うちスキャナー利用36件）、プリンター出力65件 2. 新たな「陶小町」立ち上げに至らなかったが、市之倉・笠原から新たに11名が講習会に参加 3. ラッピングバスなど7件実施	T2
	国際交流の推進による研究生募集強化と人財育成 陶芸家移住定住促進策の拡大や研究生国際交流の推進	1. 研究生の安定確保と研究生国際交流の推進 ①応募者増加へ向けた人材育成事業の見直し ②外国人研究生（セブックスポ）3名以上の確保 ③国内新入研究生15名以上の確保 ④国際交流（中国邛崃市等）の推進 ⑤SNS・ホームページの活用による情報発信強化と研究生募集のデジタル化の推進 2. 修了生等陶芸家移住定住策の推進 ①修了生雇用・定住促進奨励金の運用 ②修了生創作活動支援補助金の運用 ③「陶芸工房バンク」の運用と物件の充実	1. ①実習料等見直しを含む人材育成5事業を見直し。令和4年度に滞在職員研修を計画 ②外国新規3名（中国、台湾、米国）、待機4名（セルビア2、中国、カタ）計7名確保 ③一次募集でセブックスポ4名含む国内15名を確保。二次募集（2/27考査）に向け5名以上を見学対応 ④邛崃博物館美濃焼販売ブースでの出品作品を調整、陶芸家交流に向け調整中。意匠研究所職員が国際陶芸学会（IAC）会員に選出 ⑤ホームページを刷新。インスタでの動画活用等SNS投稿を強化。願書申請デジタル化を情報課と調整 2. ①奨励金交付3件、新たな資格認定4件 ②補助金交付4件。専攻科修了者動向を調査（次年度3名市内居住予定） ③令和3年度新規物件4件、新規登録者14名	T2
目標3	陶磁器フェス開催に合わせた市内陶磁器展示施設との連携強化や意匠ギャラリーを活用した「多治見らしさ」のPR 意匠研究所の市民及び入所希望者への施設開放	①多治見市陶磁器展示施設担当者連絡会議（美濃焼ミュージアム、モザイクタイルミュージアム、ギャラリーヴォイス、文化財保護センター）連携による研究生授業の充実、「やきもの」による「多治見らしさ」の積極的PR ②ishoken galleryでの卒業生展覧会の実施 ③研究生募集につながる卒業制作展、進級制作展、セブックスポ前期制作展等の効果的な開催 ④国際陶磁器フェスと連動した展示やイベントの実施 ⑤公開特別講義や公開ワークショップ開催による市民への美濃焼文化の伝承	①当所本館2F展示室において、文化財保護センターとの共同展示「多治見のやきものvol13高田」（1/29～3/6）を開催。担当学芸員による研究生向け講義（飯茶碗の歴史など）を実施 ②竹内紘三展（10/2～11/7：コロナウイルス感染症まん延のため会期変更）、酒井博司展（1/29～3/6）を開催 ③竹内紘三展の記録動画や陶芸工房バンク展（10/2～11/7）出品作家の作品写真を投稿。卒業制作展の会場を変更し、中心市街地（陶都創造館3Fギャラリーヴォイス）で開催（2/18～3/6） ④国際陶磁器フェスティバル協賛事業として竹内紘三展等所内関連展覧会を開催 ⑤公開特別講義を6回開催。受験志望者向け公開ワークショップはコロナ禍で見送り	T3
	安心・安全な製品づくりのための食器安全対策事業の実施 美濃焼の信頼性や安全性の向上	①食洗機用洗剤による加飾表面への影響検証（アルカリ溶液による実証実験） ②釉薬授業用副読本の作成（原料の役割、組成と貫入の関係） ③釉薬の塩基性成分（煤溶剤）の種類・調合比率が釉の表面性状等に与える影響の研究（次の副読本データ用） ④鉛・カドミウム溶出試験3,000件、スポーリング試験1,800件への安定、迅速対応可能な体制づくり ⑤東濃四試験研究機関技術者担当者会議の開催（依頼・相談業務に係る情報共有） ⑥安心・安全な製品づくりに寄与する欠陥原因・法令等に関する研究生への授業実施	①JIS「ホーンチャイ製食器の洗浄に対する化学的耐久性試験方法」での退色度合いを目視できる資料（無鉛・有鉛・耐酸絵具各10色、6種の条件でアルカリ溶液に浸漬）を作成 ②基礎テキストから知識を広げるための副読本「（仮）いろいろな原料（透明釉への添加事例）、三角座標の応用編」を作成 ③第2弾（「（仮）釉薬に含まれる成分と釉性状の関係」令和5年度）に向け資料を作成 ④12月末で溶出試験1,717件、スポーリング試験1,224件実施 ⑤随時、各機関担当とメールで意見聴取。稀に使用される原料や相談に関する対処事案など情報共有 ⑥製品欠陥及びヨーロッパ向け輸出品に課せられる新基準について調査。3月、1年生向け授業を実施	T3
目標5	業界団体等との連携の強化 業界及び関係機関との情報交換を強化	①「デザイン室」や「食器安全対策室」等を活用し、陶磁器関連情報の所内共有 ②東濃四試験研究機関協議会等、関係機関との連携・情報交換を実施し地域課題を所内共有 ③デザイン担当者会議、デザイン見本市の視察等を通じた最新情報の収集 ④地元陶磁器関連団体との良好な関係構築の為の情報共有の推進	①非公開キャビネットを活用。3Dプリンター出力状況など「デザイン室」や「食器安全対策室」の各担当者対応状況について職員間で情報共有 ②コロナ禍のため、東濃四試験研究機関協議会は未開催。他機関担当者からメール等で業務相談等に関する意見・情報を随時収集 ③④デザイン担当者会議はWEB方式で実施（11/30）。その他、美濃焼新作見本市、新春見本市等を通じ情報交換。「陶器の日」事業4団体協議会（日本陶磁器工業協同組合連合会、日本陶磁器産業振興協会、TOZIX・ジャパン、日本陶磁器卸商業協同組合連合会）の「やきものハンドブック」制作協力。日本陶磁器卸商業協同組合連合会の「やきものマスター」検定問題を監修	T3
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		（目標設定）		

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	経済部（農林担当）併農業委員会事務局
補職名・氏名	課長 岩田 卓也

組織目標兼管理職個人目標				達成度
目標		実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1	農業振興の推進 人農地プラン実質化（南姫・池田南） 農業振興地域整備計画の策定	1. 農地の集約化に関する将来方針作成のため「人・農地プランの実質化」を推進 ①南姫地区、池田南地区の人・農地プランの実質化推進 ②農業経営継続に向けた新たな中心経営体の発掘 ③北小木営農の組織運営及び農業機器更新支援 ④新規就農者経営安定支援事業の実施 2. 農業振興地域整備計画の見直しに係る計画更新の推進 ①農用地の現地調査・除外農用地の洗い出し ②県との協議・整備計画書の作成 ③多治見市農業振興推進協議会の運営 3. 多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払交付金制度、中間管理機構等を活用した農地の保全 ①北小木地区における中山間等直接支払交付金の新規活用 ②各種交付金制度を活用した農地保全活動の推進 ③農地の受け手と出し手のマッチングの実施	1. ①南姫地区、池田南地区のプラン作成に向け、農地地図や農地地番一覧表を作成。地域農業関係者との話し合いを実施し現状と課題を把握(2月) ②多治見営農に2号法人化を提案 ③トラクター、コンバイン更新を支援 ④南姫トマト栽培経営者のハウス改修を支援 2. ①要確認箇所24筆の現地調査実施(5月)。農用地区域からの計6筆(2,411㎡)を除外 ②他の計画と整合を取りながら本文全面見直し実施。JA、農業委員会への意見照会、縦覧公告、県との本協議を経て計画書策定(3月) ③計画書案に係る協議会開催（9月、2月） 3. ①測量など北小木地区の申請手続き支援を実施し、計画書を認定(7月)②交付金による甘原地区、大蔵地区、根本地区の農地保全活動支援③適宜実施	T2
	目標2	農地、森林保全の推進と有害鳥獣対策の推進 森林環境譲与税を活用した林業就業移住支援、森林整備の実施	1. 農業再生協議会の適正な運営 ①事業計画及び予算の適正な策定と事業運営 ②経営所得安定対策事業、鳥獣被害防止対策事業の実施 2. 県の機関と連携した森林保全の推進 ①森林環境譲与税を用いた林業就業移住支援、森林整備推進のため林地台帳整備を実施 ②森林経営管理制度に基づく森林所有者の意向調査実施 ③官行造林の補償対象箇所及び補償額の決定 ④東濃農林事務所等連携した林政事務の適切な遂行 3. JAと連携協力し市民農園の適正な管理運営 4. 有害鳥獣対策による農作物被害の抑制 ①豚コレラ、鳥インフルエンザ対策にかかる県、猟友会との調整 ②猟友会、捕獲隊との連絡調整及び捕獲体制の維持 ③地域での地元住民による捕獲体制の支援 ④県その他関連団体と連携した獣害対策の実施	1. ①再生協議会幹事会(8/17)、総会(8/31書面開催)を開催し、令和3年度事業計画を決定②産地交付金による水田活用の推進、イノシシ進入防止柵資材補助の実施（北小木町、東栄町） 2. ①林業就業移住支援金について3名に交付。林地台帳整備は諏訪、甘原、三の倉地区を整備②笠原一部区域207筆に対する意向調査票を発送し、調査結果を集計、意向確認実施③令和3年分支払完了。令和4年度の補償対象箇所を東濃森林管理署と現地確認の上決定④県の森林配置計画変更に伴う森林整備計画変更を実施 3. 特定農地貸付などJAと連携して適宜実施 4. ①豚熱対策としてイノシシの血液検体採取を31頭実施②猟友会と週2回の打合せ実施、12月末時点イノシシ180頭を捕獲、檻移設5回実施③北小木地区の捕獲技術指導の実施④被害状況等情報を共有
目標3	地産地消の推進 地産地消のPRと推進のための農業祭等の実施	1. 池田南地区の活性化を推進 ①（一社）フォーレ三の倉の継続的な事業展開への支援 ②地球村と連携した事業展開 2. 地産地消推進のため農産物直売所の運営支援 ①農産物直売所運営検討会議における売上向上策の提案と目標達成への支援（毎月） ②今後の直売所の運営の在り方についての協議を継続 ③集客力向上に向け8周年イベントの実施（6月） ④出張販売の実施等販売先の拡大 3. 農業祭の開催による農業、食育、地産地消のPR ①実行委員会での事業計画策定、実施 ②農業祭実施による駅北の賑わいの創出（11月）	1. ①適宜フォーレ役員会に参加して事業推進の支援実施。天然酵母パン事業は販売支援、PR促進を実施。パン工房リニューアル式典の開催支援（5/23）。地域住民協働で赤道整備実施（2月） ②指定管理を視野に市関連部署と課題等を協議 2. ①12月末までの平均月額売上347万円（前年度年間平均月額売上比約1万円減） ②運営検討会議等で随時協議。令和4年度以降の家賃負担について協議。補助金による支援を決定 ③8周年イベント開催（6/5）し売上拡大を支援。当日購入者262人（前年257人） ④アマゾン多治見FCへの出張販売5回実施 3. ①幹事会(4回)、実行委員会(3回うち1回は書面決議)を開催し、今年度の事業計画内容を策定 ②十分なコロナ対策を実施の上11/20に開催し約700人の来場	T3
	目標4	農業委員会制度の推進 農業委員会の円滑な業務の推進	①農業委員へ研修会等の実施 ②総会等事務の円滑な運営（毎月） ③農地法の権利移転許可等の適正な運用（通年） ④農地利用状況調査（7～8月）、遊休農地の利用意向調査（11月）の実施 ⑤農業委員による農業の担い手への農地の集積、集約の推進 ⑥市街化調整区域における空き家再生補助制度周知 ⑦農地の違反転用、非農地判断等の実施	①甘原町（甘原ええのお、もみじかえで研究所）で水稻直播技術等の研修会を開催(4/12, 8/25) ②毎月の総会前に議題について事務局及び会長と事前打合せを行うことにより円滑運営のための準備を実施 ③随時実施 ④農地利用状況調査を7/28から9/17の期間で実施。調査結果を取りまとめた上、遊休農地406筆に対する利用意向調査を実施(11月～12月) ⑤随時実施 ⑥窓口及びホームページで周知 ⑦適宜指導、始末書提出依頼等を実施
目標5				
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		（目標設定）	（成果）	